

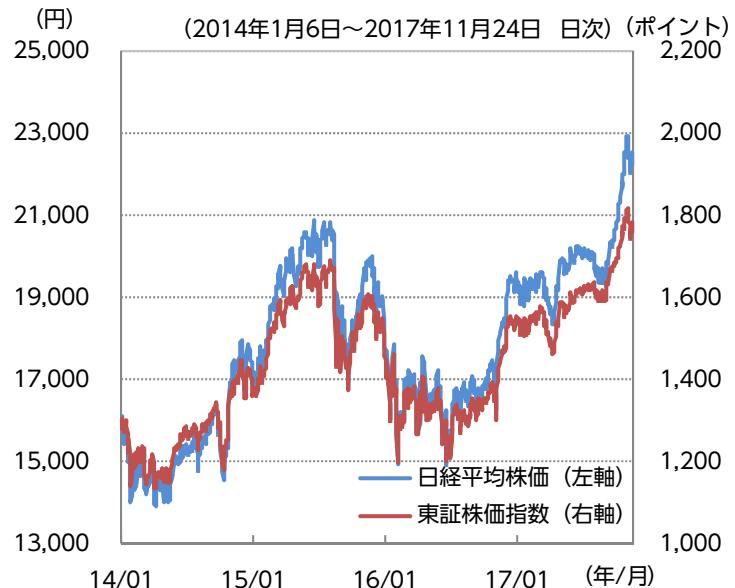
# 週間市場レポート

(2017年11月20日～11月24日)

## (1) 日本の株式・債券市場

### 株式市場の動き

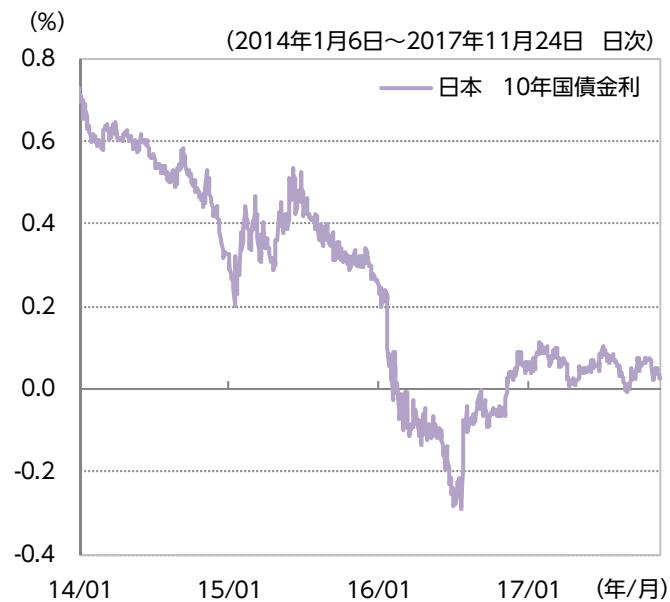
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。週初は、海外投資家の大型株を中心とした利益確定売りが出たこと等から、3営業日ぶりに反落してスタートしました。その後は、堅調な欧米株式やアジア株式市場を受けて、週末まで続伸となりました。（週末引け値：22,550.85円）
- 週間では、日経平均株価は0.69%の上昇、東証株価指数0.95%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

### 債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に低下となりました。財務省が2018年度の超長期債の発行額を減らすとの観測や、日銀が実施した国債買い入れオペ（公開市場操作）において需給の緩みが意識されたこと等を受け、週間で一進一退の展開となりました。（週末引け値：0.029%）
- 週間では、0.007%の低下となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

## (2) 米国の株式市場

### 市場の動き

- 先週の米国株式市場（N Yダウ）は、前週末比で上昇となりました。感謝祭の連休を控え動意に乏しい中、週間で方向感のない展開となりました。週末は、エネルギー価格の上昇や小売販売を巡る楽観的な見方等から、前日比で上昇となりました。（週末引け値：23,557.99ドル）
- 週間ではNYダウは0.86%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (3) 外国為替市場

### 市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。ドイツ次期政権に向けた連立交渉が決裂し、欧州政治への警戒感が高まったことや、日経平均株価の大幅上昇による投資家のリスク選好姿勢の強まり等から、週間で一進一退の展開となりました。（週末引け値：111円50銭～60銭）
- 週間では米ドル/円は0.51%の円高、ユーロ/円は0.69%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。